



3月15日に土佐山田町平山の市有林で、植樹体験が行われました。

この植樹体験は「協働の森づくり事業」の一環として開催され、市と協働の森パートナーズ協定を締結しているセントラルグループの関係者、香美市内の小学生とその保護者、平山地区の住民など約30名が参加しました。

参加者は、なかなか経験することのない作業に少し怖がりながらも、楽しく植樹を行いました。作業後は、ほっと平山に移動して特製ピザをみんなでいただきました。

今回の植樹では、ヤマザクラやホオノキ、イロハモミジなどの山の彩りが豊かになる落葉広葉樹が植樹されました。

※ 当日の様子を撮影した写真は、香美市公式Facebookをご覧いただけます。



3月3日から3月24日に香北総合型競技施設で、「第20回香美市ナイターペタンクリーグ」が行なわれました。

このリーグは、ペタンクを通じた住民相互の親睦や健康・体力づくりを目的として開催され、今回8チームが参加しました。試合はダブルス(2人一組)で行われ、「ミラクル」チームが優勝しました。

【大会結果】	
優勝	ミラクル
準優勝	ポケット
第3位	ペアーズ
敢闘賞	土佐山田C

香北おもてなし一斉清掃

放映開始のNHK連続テレビ小説「あんぱん」にあわせて、3月26日の朝9時から第1回香北おもてなし一斉清掃が行われました。

保健福祉センターには、まちを盛り上げたいと願う住民や事業所の方など大勢の方々が集まり、桜が咲くなか、市道の草引きやガードレールの水拭きなどをして町内がピカピカになりました♪



アンパンマンの絵本がふるさと納税の返礼品に



▲「かざれるき」シリーズ【左から「えほんフレーム(1冊用)/えほんフレーム(6冊用)/えほんチア/えほんテーブル」】

3月24日に香美市役所で、市のふるさと納税の返礼品「かざれるき」シリーズの完成発表会が開催されました。

この返礼品は、香美市のヒノキと桜を木材に使用した家具で、アンパンマンの絵本を飾ることができます。「かざれるき」という名前は、「飾れる木」と、土佐弁の「飾れるき」にちなんで名付けられました。また発表会では、共同開発を行った株式会社フレーベル館・株式会社なかよしライブラリー・香美市それぞれの担当者が、製品や開発に関する想いを発表しました。

絵本をひらく喜びと香美市産材の木のぬくもりに触れていただくとともに、返礼品を通じて市の魅力を全国へ発信していきます。

新しい食生活改善推進員が誕生しました

3月5日に保健福祉センター香北で、食生活改善推進員（ヘルスマイト）養成教室の修了式が行われ、4名の方が新たにヘルスマイトとなりました。昨年11月から全5回にわたる、健康づくり・食育に関する講義や調理実習などの課程を修了し、今後はヘルスマイトとして120名ほどの仲間と一緒に、食を通じた健康づくりのためのボランティア活動を行います。



ものべすと周遊ライド

3月23日に、物部川エリアでの観光博覧会実行委員会の主催によるサイクリングイベント「ものべすと周遊ライド」が開催されました。

これは観光博覧会「ものべすと」のイベントとして行われたイベントで、天然色劇場（香南市）を出発地点として、西川公民館（香南市）や保健福祉センター香北、西島園芸団地（南国市）を閑門に、参加者が約70kmの距離を自転車で駆け抜けました。

折り返しの休憩所となった保健福祉センター香北の駐車場では、垂生の里の女性グループ「にろうまいこ」の皆さんと、新商品「あんかる」などのかるかんを参加者に振る舞い、昼食として提供された香美市の田舎寿司や和のハーブシロップもたいへん好評でした。



衛生教育奨励賞を受賞！



地域の健康づくり活動の優秀な事例などを表彰する「第57回衛生教育奨励賞（一般財団法人日本公衆衛生協会）」を、香美市糖尿病予防部会・香美市健康推進課が受賞しました。

3月17日には村上副市長への受賞報告とともに、今後の地域での健康づくり活動についての意見交換を行い、糖尿病予防部会の方々は、市民一人ひとりが、毎日を健康でいきいきと過ごせるように、これからも活動を頑張っていきたいと話されていました。

【香美市糖尿病予防部会とは】

糖尿病予防対策について考え、広く知識の普及・啓発を行うことを目的に、健康づくり団体（食生活改善推進協議会・健康づくり推進員協議会・健康づくり婦人会）と行政が協働で、令和3年度に立ち上げた部会です。「子どものときから健康について考えてもらい、その家族、その周りへと健康づくりを広げていこう」という目標を掲げ、市内の小学校での紙芝居の読み聞かせ活動や、イベントなどの普及活動を行っています。

